

平成 28 年 (2016 年) 3 月 25 日

情報研シリーズ (丸善ライブラリー) 最新刊

『カメラ? カメラ! カメラ?! - 計算をはじめた未来のカメラたち -』

3 月 31 日発売開始

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所 (NII、所長：喜連川 優、東京都千代田区) が監修する「情報研シリーズ」<sup>(\*)1</sup> (丸善ライブラリー) の最新刊『カメラ? カメラ! カメラ?! - 計算をはじめた未来のカメラたち -』が同シリーズの第 20 弾として 3 月 31 日から発売されます。



書名： カメラ? カメラ! カメラ?!  
- 計算をはじめた未来のカメラたち -  
情報研シリーズ (丸善ライブラリー)

著者： 児玉 和也 (NII コンテンツ科学研究系 准教授)  
財部 恵子 (ライター)

監修： 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構  
国立情報学研究所

発行： 丸善出版株式会社

定価： 760 円 (税別)

## 【内容紹介】

前半では現在に至るまでのカメラの歴史を振り返りながら「像を写し、残す」というカメラの仕組みを、後半では「撮影現場に戻るカメラ」の実現を目指す著者 (児玉) の研究を中心にデジタルカメラの先にある未来のカメラについて、それぞれ解説します。

「撮影現場に戻るカメラ」とは、コンピュータ (計算機) を駆使した画像処理技術により、あたかも撮影現場に戻って撮影し直しているように、撮影後に視点や焦点を自由に変えられるカメラのことです。

こうしたカメラ技術がさらに発展した先には、どんな未来が待っているのでしょうか。カラー写真やイラストを使用した丁寧な説明で、ワクワク感を抱きながら研究の最前線に触れることができます。

## 【目次】

- 第1章 ピンホールの魔術からレンズの科学へ——空間を超えて見る
  - 1. 「映-像」とのはじめての出会い
  - 2. レンズの向こう側に広がる新しい世界観
- 第2章 カメラの誕生と進歩——時間も超えて記録する
  - 1. 写真術のはじまり
  - 2. カメラのしくみ
  - 3. デジタル化するカメラ
- 第3章 計算をはじめた未来のカメラたち——時をさかのぼって撮影現場へ
  - 1. 光を操る「未来のカメラ」への挑戦
  - 2. 焦点合わせを変えた画像を自在につくる
  - 3. 「計算機写真術」時代の幕開け
  - 4. 「記録する」から「撮影現場に戻る」カメラへ
- 第4章 ピンホールカメラから遠く離れて
  - 1. 見果てぬピンホールの向こう側
  - 2. 計算するカメラたちがもたらす最新型の未来

## 〈お問い合わせ先〉

### 国立情報学研究所

総務部企画課広報チーム

TEL : 03-4212-2164/FAX:03-4212-2150

E-Mail : [media@nii.ac.jp](mailto:media@nii.ac.jp)

### 丸善出版株式会社

担当：大野詳二

TEL : 03-3512-3256/FAX:03-3512-3270

E-Mail : [s\\_oono@maruzen.co.jp](mailto:s_oono@maruzen.co.jp)

以上

(\*1) 情報研シリーズ：NII が推進する情報学の総合的研究の内容を一般の方々に分かりやすく紹介し、情報学をより身近に感じて貰うため、新書（丸善ライブラリー）として刊行しているシリーズ本。既刊に「おしゃべりなコンピューター音声合成技術の現在と未来」「量子元年 進化する通信」「ソフト・エッジソフトウェア開発の科学を求めて-」「これも数学だった!?-カーナビ、路線図、SNS-」「ウェブらしさを考える本-つながり社会のゆくえ-」「IDの秘密」など。